

# プーシキン美術館の至宝

## フランス風景画の魅力

講師 美術史家 木村 泰司

見事なフランス絵画のコレクションを誇るモスクワのプーシキン美術館。エルミタージュ美術館と並ぶ、ロシアが誇る美の殿堂です。プーシキン美術館の魅力は、フランス絵画史を学べると同時に、フランス風景画の歴史を辿ることができる点です。

今回の展覧会も、風景画の古典・規範であるクロード・ロランから、18世紀ブルボン朝時代の作品、そして近代絵画の巨匠たちまで、展覧会出品作を紹介すると同時に風景画の魅力を解説します。(講師記)



ピエール＝オーギュスト・ルノワール  
《庭にて、ムーラン・ド・ラ・ギャレットの本陰》  
1876年 © The Pushkin State Museum of Fine Arts, Moscow.

●「プーシキン美術館展——旅するフランス風景画」  
2018年4月14日(土)～7月8日(日) 東京都美術館

### <講師紹介>木村 泰司(きむら たいじ)

1966年生まれ。米国カリフォルニア大学バークレー校で美術史学士号を修めた後、ロンドンサザビーズの美術教養講座にてWORKS OF ART 修了。ロンドンでは、歴史的なアート、インテリア、食器等、本物に触れながら学ぶ。知識だけでなくエスプリを大切に、全国各地での講演会、セミナー、イベントは新しい美術史界のエンターテイナーとして評判をよんでいる。著書に『印象派という革命』(集英社)、『美女たちの西洋美術史 肖像画は語る』(光文社新書)、『名画は嘘をつく1～3』(大和書房)、『世界のビジネスエリートが身につける教養 西洋美術史』(ダイヤモンド社)、「西洋美術史を変えた名画150」(辰巳出版)ほか、エッセーの執筆などで活躍中。

日 時 2018年 4/27 1回

金曜日 13:00～16:30 (途中休憩あり)

受講料 会員 6,480円 (入会金は5,400円。70歳以上は入会無料、証明書が必要です)

一般 7,776円

※入会金、受講料、教材費等は消費税8%を含む金額です。

※ ご入会の優待制度をご利用の方は、お申し出ください。

※ 日程が変更されることがありますので、ご了承ください。

※ 講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。

※ 個人情報は、受講連絡、当社からのお知らせ、企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター  
朝日JTB・交流文化塾

新宿

〒163-0210 東京都新宿区西新宿2-6-1  
新宿住友ビル内私書箱22号  
tel 03-3344-1945  
<https://www.asahiculture.jp/shinjuku>